

AJU愛実

認定

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／紙風船)

定価：一部100円

第61号会報

福祉の創造 地域とのかかわり / 理事長 戸田 真二
2024年度事業報告・2025年度運営方針
2024年度活動計算書
全体研修会/居宅介護事業所あみ
大地の家（生活介護）
紙風船（生活介護）
「海は海のものです」 / 島 しづ子
寄付者名簿

P1
P2
P3
P4
P5～P6
P7～P8
P9
P10



大地の家/白鳥公園にて

福祉の創造 地域とのかかわり

理事長 戸田真二

愛実の会の理念には、「メンバーの中にある輝く個性に導かれながら、彼らの存在を社会に紹介し、すべての人が生きやすい社会を作っていく」とあり、「**地域に根ざすために、出会いを大切にし、開かれた場をつくる**」ことが示されています。しかし、コロナ禍では、施設は鎖国状態でしたから、外出もできず、来訪者の制限もあり人との交わりはご法度でした。昨年度からようやく外出制限、来訪者制限が解禁となり、今年度は「地域とのかかわり」を愛実の会のテーマとして掲げました。紙風船の人形劇の公演はコロナ禍では0回でしたが、昨年12月に名古屋ワイズメンズクラブの方を招待してクリスマス公演を実施しました。大地の家もミュージックケアで盛り上げてくれました。また、3月には春の親子ふれあい公演を実施し、地域の方、子どもから大人まで60名ほどが集まり地域交流の機会を持つことができました。この愛実の会の会報は昨年より地域の民生委員と福祉部会の方に配られるようになりました。また、昨年11月には港区の民生委員の研修会で愛実の会を紹介し、人形劇の公演も行いました。そこでは施設と地域とのつながりが重要であることをアピールさせて頂きました。それ以後も交流が続き、協力者も増えつつあります。

今年度に入り、ボランティアの受け入れもオープンになり、数名の方が訪れています。6月には名古屋学院大学の学生さんたち、約35名が愛実の会の見学に訪れました。訪問の感想文を読むと、多くの学生さんが今まで思っていた障がい者への先入観が変えられたとありました。こうした機会はお互いにとって貴重な体験であり、心のバリアフリーが広がっていくことを肌で感じます。

支援者の皆さん、地域の皆さん。愛実の会へ是非おいで下さい。見学ツアー大歓迎です。また、紙風船の人形劇は、可能な限り出張して皆さんのところへ伺います。地域ふれあい公演の感想を紹介します。「親も子も楽しめました。みなさんとても輝いていました。身体が動けなくてもできることがある。一生懸命さが伝わり涙が出てきました。生きていれば小さいことでも何かができる。たくさんありがどうの言葉が出てきました。ステキでした。五体満足でも何もできないのに体の不自由があっても立派に演技をしてくれて見事でした。笑いと感動をありがとうございました。素晴らしかったです。」

愛実の会に参加して、普段の生活では感じにくいことをたくさん考える時間になりました。愛実の会の中で語ってくれていた言葉や想いには重みがあり心に強く残りました。命の大切さや人と人とのつながりについて深く考えることができ、自分の中で何かが変わったように思いました。特に、今ある日常が当たり前じゃないということに気づけたのは大きな学びでした。少しの優しさや思いやりが誰かの支えになることもあると知って自分もそんな存在になりたいと思いました。これからは、感謝の気持ちを忘れずに毎日を大切に生きていきたいです。参加できて本当によかったです。(名古屋学院大学 訪問感想文より)

2024年度事業報告

愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、下記の3つの事業に取り組んでいます。

(1) 生活介護事業 (障がい者デイセンター愛実:大地の家・紙風船)

契約メンバー数 31名(2025年3月31日現在)1日平均 15.4 名の利用(定員20人)

2024年度は、感染症・食中毒等のまん延対策は継続しつつ、活動については外出活動の制限を撤廃し、メンバーの笑顔を大切に寄り添う支援を実践した。

(2) 居宅介護・重度訪問介護 (居宅介護事業所あみ)

ホームヘルプ(身体介護、入浴、通院、外出支援、家事等)を行い、安心できるサービス提供を行った。重度訪問介護については、地域自立生活支援として24時間のケアを実践した。またシェアハウスへの支援を継続的に行うことができた。

(3) 独自サービス事業

- ① 独自サービス(デイサービスの延長:朝・夕、入院時付添い、通院・外出時の車移動)の実施。
- ② シェアハウス「COPAIN」月～木の3泊4日利用を繰り返し、メンバーも安定した共同生活が確立してきた。地域生活のモデルとして、支援体制は重度訪問介護を活用し、日中は生活介護と連携しながら、法人独自のモデルを実践中。2022年9月開始から2年半が経過した。

★ 支援体制について 総数36名(2024年3月31日現在)

正職員18名、嘱託職員 2名、パート等16名(生活支援員・看護師・給食・ドライバー・ヘルパー等)

※ 詳細については、愛実の会ホームページより、見える化→2024年度事業報告を参照ください。

2025年度 愛実の会運営方針について

- ① 感染症対策及び防災の業務継続計画(BCP)の強化
 - ・南海トラフ地震を想定した訓練及び福祉指定避難所開設シュミレーションの実施。
- ② 職場環境の改善
 - ・コミュニケーションを重視し、チームワークの強化及び部署間の円滑化を図る。
 - ・業務改善活動の体制構築を目指す。
- ③ シェアハウス「COPAIN」支援体制の充実
 - ・地域生活のモデルとして、安心した暮らしの場の提供及び支援体制の強化
- ④ 地域とのつながりを大切にする
 - ・広報活動及びボランティア受け入れの促進
 - ・災害時を想定とした平時からの地域共助の関係づくり
 - ・地域交流の機会を作り、つながりと理解を深め、支援者・協力者を増やす。
- ⑤ 愛実の会20周年事業プロジェクトの立ち上げ
 - 2027年1月愛実の会設立20周年を迎えるにあたり、3つの事業を計画する。
 - ・20周年イベントの実施
 - ・デイセンター愛実大規模修繕
 - ・メンバーの将来の地域自立生活支援の具現化



2024年度 特定非営利活動に係わる事業会計 活動計算書
2024年4月1日～2025年3月31日

特定非営利活動法人 愛実の会

科 目	金 額		単位:円
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	123,000	123,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	1,612,138	1,612,138	
3. 受取助成金等			
受取助成金	55,500	55,500	
4. 事業収益			
1)生活介護事業収益	113,181,217		
生活介護事業	87,493,066		
重心補助金	22646100		
食事収入	2,788,451		
就労支援事業収入	253,600		
2)居宅介護事業収益	37,447,139		
3)臨時特例交付金収入	206,081		
4)移動支援収入	0		
5)独自サービス事業収益	1,259,656	152,094,093	
5. その他収益			
受取利息	20,121		
雑収益	711,937	732,058	
経常収益計			154,616,789
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	70,876,395		
賞与	12,372,727		
法定福利費	11,882,501		
福利厚生費	995,867		
人件費計	96,127,490		
(2)その他経費	37,286,553		
事業費計		133,414,043	
2. 管理費			
(1)人件費	12,564,394		
(2)その他経費	4,195,256		
管理費計		16,759,650	
経常費用計			150,173,693
当期経常増減額			4,443,096
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			4,372,096
前期繰越正味財産額			79,754,500
次期繰越正味財産額			84,126,596

※貸借対照表はWeb:愛実の会ホームページ及び内閣府NPO法人ポータルサイトより「愛実の会」検索にて閲覧することが出来ます。尚、皆様から頂いた寄付金は、①アシスタント支援体制強化費 ②紙風船夢づくり(新作人形劇制作)等のために活用させていただきました。
2024年度は150名の方から寄付を頂きました。感謝を持ってご報告させていただきます。

愛実の会 職員全体研修会

日 時 2025年4月29日(火・祝)

参加者 法人全職員 33名

《プログラム》

午前の部 全体ミーティング

- ①理念の共有 ～地域とのかかわり～
- ②2025年度の運営方針 年間計画の確認
- ③新年度 各部署の目標の共有
- ④BCP(自然災害)災害マニュアルの確認
- ⑤南海トラフ大地震を想定した訓練

午後の部 専門研修

- ①意思決定支援についての共有
 - ②移乗介助及びボディメカニクスを中心とした介護技術研修
- 講師：介護研究会「笑」

毎年、愛実の会では法人職員全体研修会を4/29に開催しています。理念の共有から、年度の方針及び目標確認、そしてBCPの共有。午後は専門研修で今年は講師を招いて、移乗介助のボディメカニクスを学びました。各部署が一同に集まる機会はこの日以外になく、多くの学びと交流があり、充実した一日となりました。



居宅介護事業所あみ

山下 かの子

愛実の会に入ってから、何年間は一人のメンバーとしか関わりがなかったです。初めは高齢者の施設で働いていたため全く障がい者について想像がつかない自分がいたことを今でも思い出します。いざ本格的に働き出してから、何人かのメンバーの担当になりその人その人の違いがあり過ぎ、手順など覚える事に必死な毎日でした。老人とは違い、私が間違いをしたとしても、文句など言葉で表現出来ない人が多く、メンバーの一つひとつの表情だったりを見逃さないようにしたりなど正解が何か分かりませんが、自分なりに考えてやってきました。

Rさんとの出会いがあり、オムツの当て方一つについても自分で完璧と思っていた、チェックをするとズレていたりとビックリしました。

Kさんとは、最初は警戒され、なかなか心を開いてもらえなかった事を覚えています。Kさんとの関りのあるアシスタントに相談し、アドバイスをもらい実践していき、今では笑いのつぼもわかりKさんも笑顔でいてくれています。トイレのタイミングなども失敗もほぼないです。

Nさんとは前から顔見知りと言うこともあり、愛実のアシスタントとして入ったときも、すんなりと受け入れてくださいました。Nさんはご自分の言葉で色々と伝えて下さるのでありがたいです。今後も良い関係を続けていきたいです。

自分にとっては、居宅介護事業所あみに入り、戸田さん始め、齊藤さん、藤澤さんに出会い仕事が出来ている事に感謝しかないです。たくさん話し合いが出来る環境があり、本当に助かります。今後もメンバーのため、自分のために出来る限り頑張ります。



大地の家

(生活介護)

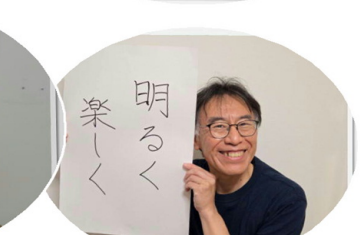
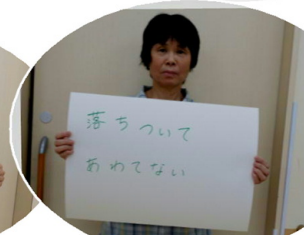
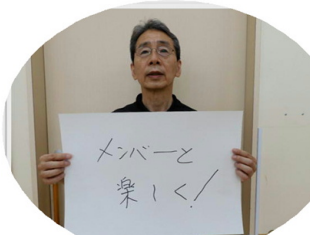
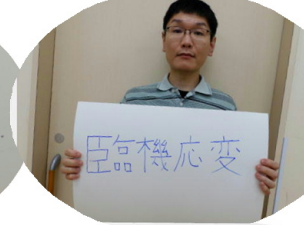
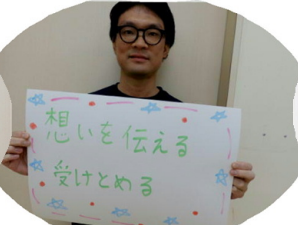
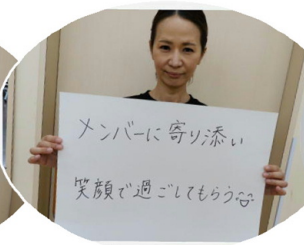
2025年度の大地の家は、メンバーの思い、気持ちを汲み取り、寄り添えるような関係作りを目指します！
メンバーが主体的に参加しやすい環境を考え、メンバーとのかかわりを大切にしていきたいと思っています。

また、今年度は人が集まる活動企画も少しずつ考えていきたいと思っています。

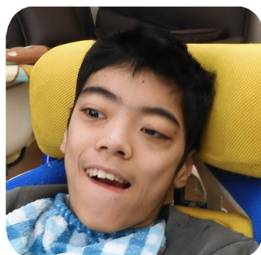
今年度は新たに1名のメンバーを迎え入れ、メンバーの数は20名になりました。
昨年从今年に新たに3名の入職があり、アシスタントは17名となりました。

ベテランのメンバー、アシスタントから新人さんまで、様々な方々が
毎日楽しく一緒に過ごしています。
今回は、そんな個性溢れるメンバー、アシスタントを紹介したいと思います。

アシスタント



メンバー



メンバー・ご家庭から大地の家へのメッセージ

- ・いつもきめ細やかな対応ありがとうございます。
- ・他のメンバーやアシスタントのみなさんのおかげで毎日楽しく通っています。
- ・独自の楽しいプログラムがあり、娘はとても楽しく通っています。
- ・ショートステイ立ち上げてください。
- ・デイに行くのは楽しみです。お迎えの車が来ると笑顔です。
- ・ありがとう。これからもよろしくお願いします。
- ・また、みんなとたくさんお出掛けしたいです。

皆さんの言葉を励みに今年も
楽しい大地の家をみんなで
つくっていきたいと思います！



紙風船

（生活介護）



3月22日（土）、久しぶりの自主公演「春のおやこふれあい劇場」を、愛実の会となりの東築地学区防災センターにて開催いたしました。

今回は、パネルシアターで全国で活躍しておられる、人形劇団手風琴さんとの、紙風船初の一般のお客様をお迎えしてのジョイント公演でした。

どれくらいのお客様がいらっしゃるのか不安なところもありましたが、当日は約60名のお客様がいらっしやり、大盛況の公演となりました。

手風琴さんのパネルシアターも大人気！ お子さま、親御さんだけでなく、紙風船のメンバーも大うけしながら、拝見させていただきました！



思えば、自主公演は2020年春にも予定していましたが、コロナであえなく中止に追い込まれ、それ以来そのような公演はできずにいました。今回、会場に集まった多くのお客様たちにご覧いただけて、メンバーの演技にも力が入りました！

コロナ禍での配信公演とはまた違った、お客さまの反応をダイレクトにいただけて、公演するやりがいい、達成感を、それぞれのメンバーが持っていたようです。

人形劇団手風琴さんをお招きしたことで、普段なかなかできない、他劇団さんとの交流の機会も持てました。

今回このような機会をいただけて、人形劇やってきて良かったなあと、わたしたちひとりひとりが思えた公演会でした！

春のおやこふれあい劇場

人形劇団 紙風船
夢・希望・笑顔が詰まった人形劇をお届けします！！
演目：「ボーちゃん」

人形劇団 手風琴
『子どもたちの笑い声を聞きたい』
パネルシアターをお届けします
演目：「ダンボールマン」他

入場無料

2025年 主催：NPO法人愛実の会
3/22 ± 13:30~14:30
場所：東築地学区防災センター
〒455-0021 愛知県名古屋港区木場町9-9

活動報告～サークル活動①～

水曜サークル～楽しいおやつ作り～



この日はおやつ作りをしました。
ホットケーキミックスとたこ焼き器を使ってオリジナル鈴カステラにチャレンジです。

型に生地を流し込む作業はアシスタントが行いましたがそれ以外はほぼメンバーが協力し合って、可愛いまんまる鈴カステラをたくさん作りました。さらにチョコフレックなどで可愛くトッピングして、その日のティータイムでいただきました。

紙風船のサークル活動は、火・水・金曜日で有志のメンバーがフリーに楽しく活動しています。外出の予定を立てているグループもあります。また少しずつご紹介していきますのでよろしくお願いします！



2025年度公演予定

8月23日(土) 北なごやパペットフェスタ

@名古屋芸術大学アーツスクエア

演目：「ポンタとたっくん」

10月12日(日) ひまわりホール子どもアートフェスティバル

@損保ジャパンビル

演目：「裸にされた王様と大臣」予定

☆夏休みにふれあい公演を計画しています☆



ボランティアさん募集しています！！

紙風船では、メンバーとお話したり一緒に活動していただけるボランティアさんを随時募集しています。さらに、公演先でのお手伝いをしていただけるとありがたいです。曜日や時間については紙風船までお問い合わせください。なお、名古屋市社会福祉協議会「なごやボラねっと」、ボランティア情報「ボラみみ」にも掲載しておりますのでどうぞご覧ください。一緒に楽しい時間空間を創っていきましょう！



紙風船の活動情報は
こちらから

「海は海のものです」

島 しづ子

愛実の会を応援くださる皆さま 愛実の会の皆さま お元気で夏を乗り切りましょう。

今、大浦湾は大変な状況です。2024年1月10日、国の代執行によって大浦湾の瀬嵩の浜寄りの海上ヤードに石材投下が始まりました。そこはトウカムリポイントと呼ばれる場所で、頭大もある貝が多数生息しています。辺野古や大浦湾で工事をするということは生物の上に石材や土砂が落ちてくるということです。

また工事を進めるために護岸工事が進み、A護岸では300本以上の鉄管杭が打ち込まれました。この杭は長さ40メートル、直径1メートル以上もあります。

2024年末からは、軟弱地盤と呼ばれる個所の地盤改良のためにサンドコンパクション船6船が入り稼働しています。巨大で圧倒される大きな機械船です。

「軟弱地盤」と言うが無機質な地盤を想像しますが、そこは泥地という場所で希少貝や生物が生息している「命のゆりかご」です。瀬嵩前浜には大浦湾に生息する750種類と言われる貝の多くがゆりあがり、軟弱地盤と呼ばれる場所に由来する貝もゆりあがっています。

辺野古側では昨年以來辺野古護岸のK4に続いて、K5、6、7護岸が埋め立てられました。そこも希少サンゴが生息し、魚たちが泳いでいた場所です。今は石やセメントの下になってしまいました。そこは弾薬装填場になります。命を押し潰し、命を殺す武器を装填する場所になるのです。

2025年6月28日に大浦湾で船やカヌーに乗って「海のおまつり」をしました。海上で私たちを排除しようとする海上保安官も警備員も一緒に、海のいのちを祝うおまつりをしたいと願ってのことです。今まで海上で集会を行うと、警備員が「そこは制限区域ですから直ちに退去してください」とマイクで連呼します。

私は司会でしたので、おまつりの開始前に、海上保安官にお願いしました。「10時から11時40分ぐらいの間、静かに見守ってくださいませんか！」「わかりました。雷、熱中症に気を付けてください。」と応じてくれました。運悪く警備員にお願いする機会が無く、どうしようかと思っていました。他の船長がマイクでお願いしてくれました。

カタブイ(通り雨)が降りました。カヌーメンバーは一時浜に避難しましたが、その後は快晴のカンカン照りで、積乱雲が巨大なソフトクリームのように空に並びました。大浦湾は群青色に輝きました。おまつりが始まりました。金井船長が慰霊の言葉と鐘を鳴らしました。ギターによる弾き語り、カヌーメンバーの尹東柱の詩の朗読、韓国語による尹東柱の詩の朗読、韓国語によるギター弾き語り、20年以上カヌーを漕いでいるメンバーの讃美歌と海への呼びかけ、ジャズシンガーの弾き語りと豊かなプログラムでした。その間、残念ながら警備員はマイクで「臨時制限区域から退去してください」と言い続けました。司会者として冷静に冷静にといいながらも腹立たしくなりました。



海のおまつりをするよりも、工事現場でアタックする方がいいという意見が多い中、苦心して準備した海のおまつりでした。結果的に大浦湾の工事を半日間止めることができました。大成功でした。でも私的には残念でなりません。それは海の上で対峙させられてはいるけれど、警備員たちとも自然の命と一緒に考えたかったからです。カヌーメンバーが涙ながらに「大浦湾が私を助けてくれたのに、大浦の命を守れないでごめんなさい」と呼びかける声に対して、警備員はせせら笑うかのようマイクを使っていました。辛い場面でした。

シンガーソングライターのShihoさんが自分の時間の前に、警備員のマイクに苦笑しながら「海は海のものですよ。警備員の皆さんも一緒に歌いましょう」と言いました。



NPO法人愛実の会寄付者名(敬称略・順不同)

2025年3月1日～2025年7月10日

★ 寄付金

須田 静代	吉谷 尚之	安藤 真知子	畦地 優美
普天間 ともえ	島田 恵子	五十嵐 靖	水野 享好
松本 孝子	桑山 博信	池上 譲治	戸田 真二
澁谷 和美	佐野 都吾	有村 良子	伊藤 あつ子
丸山 恵津子	加藤 勝敏	長谷川 文成	
教団)金城教会	教団)岡崎茨坪伝道所	教団)名古屋中央教会	
学)金城学院	中部学院大学	名古屋桜山教会シャロンの会	
京都みぎわキリスト教会			

★ 夢づくり

渡邊 誉 鈴木 奈美江

★ 物品寄付

南山ハーベストクラブ

2025年度の寄附金目標額150万円

＊アシスタント支援体制の強化

＊紙風船夢づくり(人形劇制作費等)

愛実の会では、メンバーとの関わりを大切に、安心して地域生活を送ることを実現するため充実したサポート体制を目指しています。

NPO法人愛実の会は、名古屋市が認定した「認定NPO法人」です。当法人は、公益事業を行う法人として、税制面で優遇を受けています。寄付をした翌年の確定申告時に、当法人が発行する寄付金受領証明書を添付することにより所得から控除を受けられます。寄付金受領証明書は確定申告まで大切に保管をお願いします。

職員紹介

* 山下 香織 大地の家(正職員)

5月より大地の家で働いている山下です。メンバーの皆さんと活動やお話をして楽しく働かせていただいています。楽しく安心して過ごしていただけるよう務めていきます。よろしくお願い致します。

* 枡元 将近 紙風船(アルバイト)

4月より紙風船に勤めさせていただいています枡元です。初心者の方に優しい心で接していただける先輩スタッフの方々に感謝しながらこれからも仲良く続けていける様に頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

* 尾野 恵次 ドライバー(パート)

4月より愛実で送迎の運転手を始めて3ヶ月と少し過ぎました。まだ覚える事がたくさんありますが少しずつ仕事に慣れてきたように感じます。分からない事もありますが、頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

ボランティアさん募集しています
愛実のメンバーと一緒に楽しみませんか？
見学の方も大歓迎です
ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください
担当：戸田（連絡先：052-693-5897）

【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

□ 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

□ 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL：052-693-7645 FAX：052-746-2639

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://www.aminokai.com

【「認定NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1口1,000円 何口でも結構です

◆ 寄付金（賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用）

◆ 紙風船夢づくり（人形劇制作費、公演活動に関する費用）